

授業科目名 【必修】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
関係法規 【必修科目】		23期1学年	20	井上 慎一郎 (外部講師) 【なし】	行政書士 大学・大学院で法律を学んだ後、官公署や士業事務所での勤務経験を生かし、 行政書士として熊本市を中心に許認可申請業務・事業運営支援その他行政 手続きのサポートを行う。
【授業概要】		・美容師になろうとする人の為に必要な関係法規・制度を解説。 ・社会における法の役割、法と国家の関係、法の種類及び衛生法規について学ぶ。 ・国と地方の行政の関係、衛生行政及び保健所について学ぶ。 ・美容師法について学ぶ。			
【講義の目的】		美容師法を中心とした関係法規の理解 国家試験合格に必要な知識習得			
【授業計画】					
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
2学期	9月	2 講義	法制度の概要	社会の様々な法律を学ぶ。法律の必要性。 社会生活における法の役割を学ぶ。	社会生活における法制度の役 割を認識することを到達目標と する
		2 講義	衛生行政の概要	法治国家である我が国で具体的にどのように運用され、衛生行政が行われている か学習する。 衛生行政の意義と歴史、分類と内容。 衛生行政の国と地方公共団体での担われ方。 保健所の役割と機構についてを学ぶ。	到達度小テスト70%基準以上 であること解答解説により重要箇 所を理解する
		2 講義			
	10月	2 講義	美容師法 (美容師、美容室の規定)解説	理容師法・美容師法を理解する。 法による規制の中心になる人(理容師・美容師)、施設(理容所・美容所)について 立入検査と環境衛生監視員について違反者等に対する行政処分、罰則について	社会生活における美容師法の 役割を認識することを到達目標 とする
3学期	1月	2 講義	美容師法定義	理容師法、美容師法を学ぶ。適正な理容美容の業務とは何かを学ぶ。 重要な条文の理解を深める。	定義を理解することを到達目標 とする 各章小テスト70%の正答率を目 標とする
		2 講義			
		2 講義	美容師法定義	理容師法、美容師法を学ぶ。適正な理容美容の業務とは何かを学ぶ。 重要な条文の理解を深める。	定義を理解することを到達目標 とする 各章小テスト70%の正答率を目 標とする
		2 講義			
	2月	4 講義	行政処分、罰則、関連法規、 衛生法、解説 ワーク問題、チャート図、 解答、解説	理容師法、美容師法以外の法律を学ぶ。 美容業界に関連する法律を学ぶ ワークブックの回答解説、チャート図等を利用し理解を深める。	社会生活における美容師法の役割 を認識することを到達目標とする ワークブック正答率70%を目標とす る
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価			
教科書及び教材		・関係法規教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック ・適宜プリント配布			
資格対応		美容師国家資格			
備考					

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
衛生管理 【必修科目】		23期1学年	36	牧野 修平 【有り】	美容歴17年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程終了 衛生管理研修課程終了 ヘアケアマイスターインストラクター取得
【授業概要】		・美容業においての公衆衛生の向上の為の知識習得。 ・環境衛生についての知識修得。			
【講義の目的】		美容業務と関係ある個人衛生に関心を払い、公衆衛生を理解し感染症等の予防を学習し理解する。			
【授業計画】					
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	2 講義	1編 公衆衛生 (公衆衛生の意義と課題 保健所)	公衆衛生の歴史は美容師にとって重要であり、公衆衛生の第一線機関としての役割を担う保健所の機能について学ぶ。接客においてのリスクを考える。	社会生活における感染症等の知識理解度を到達目標とする
	5月	2 講義	母子保健 (成人、高齢者保健 精神保健)	健康を保持するために国などが創設している公衆衛生制度である保健の基礎知識(平均寿命や死亡率、生活習慣病等)を学ぶ。 平均寿命の延びに伴うサロン現状を考える。	保健制度に関する事項が日常の中で必要であることを認識することを到達目標とする
		2 講義	1編の復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。 サロンと直結する衛生管理についてリスト化し、最重要部分を再度検証する。 小テスト	公衆衛生における感染症等の予防知識理解度を到達目標とする
		2 講義	2編 環境衛生 (空気環境、衣服、住居の衛生、 上下水道と廃棄物、 衛生害虫、環境保全)	公衆衛生のもつ大義としての”住民の健康”を守ることを中心に以下展開する。 ①環境が自然や人々の健康に及ぼす影響を知り、社会の一員として適切に行動できるよう学ぶ。 ②美容室での廃棄物の処理の現状を担当教員のサロンでの経験を交えながら学習する。 ③衛生害虫では身近な頭ジラミを発見した時等の対応を担当教員のサロン経験を基に学習する。	環境衛生に関する事項が日常の中で必要であることを認識することを到達目標とする また自然との調和がいかに大切かを知る
		2 講義	2編の復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。 サロンと直結する衛生管理についてリスト化し、最重要部分を再度検証する。 小テスト	環境衛生に関する事項が日常の中で必要であることを認識することを到達目標とする
	6月	4 講義	3編 感染症 (人と感染症病原微生物)	衛生上の危害を防止するだけの知識技能を持つために、 感染症についての的確な知識、技能を学ぶ。	感染症に関する事項が日常の中で必要であることを認識することを到達目標とする
		4 講義	3編 感染症の復習 (人と感染症病原微生物)	WHOの定義と美容における役割を考えまとめる。 国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ小テスト	
	7月	6 講義	1編～3編の復習	国家試験に出題されやすい個所、をより詳しく学ぶ。総復習 個別指導	公衆衛生における感染症等の予防知識理解度を到達目標とする 各章小テスト70%の正答率を目指す
2学期	9月	8 講義	3編 感染症 (感染症の予防)	微生物の病原性と人体の感受性の相互関係と汚染、感染、発病の経過を学ぶ。 また、予防接種の効果や感染症の発生の要因と対策についても学ぶ。 サロンにおける目に見えない感染症についての考え方を学ぶ。	感染症に関する事項が日常の中で必要であることを認識することを到達目標とする
	10月	2 講義	3編 感染症 (感染症の各論)	代表的な感染症について、病原体、感染源、感染経路、症状、予防対策などを学ぶ。 担当教員のサロン経験を基に接客時の感染症予防策を学習する。	
3学期	2月	2 講義	4編 衛生管理技術 (消毒法各論)	サロン実務経験から化学的消毒法を実習を交えることで現場において嗅覚等の必要性を体験する。	
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価			
教科書及び教材		・衛生管理教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック ・各章まとめプリント 模擬問題プリント			
資格対応		美容師国家資格			
備考					

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
美容保健 【必修科目】		23期1学年	50	梶田 菜摘 【有り】	美容師歴15年 大阪、熊本とブライダル部門にて15年間の実務経験あり。 日本理容美容教育センター主催 美容議論・実習・保健研修課程修了	
				安楽 麻衣 【有り】	AEAJアロマセラピーアドバイザー、スポーツメディカルトレーナー 星野リゾートASOトップセラピストの経歴を持つ。 現在もブライダリストとして現場に立つ。JBCA認定教員 (公社)日本理容美容教育センター主催 運営・保健研修課程修了。	
【授業概要】		・毛髪・爪・肌の基本理論を習得し、その根本的である人体の構造・機能・皮膚・付属器官・役割の知識を高め容姿だけではなく、心身ともに健康を目指す。				
【講義の目的】		毛髪・爪・肌の基本理論を習得。健全な心身の育成。国家試験合格				
【授業計画】						
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標	
1学期	4月	1 講義	1編 人体の構造及び機能 1章 頭部、顔部、頸部の 体表解剖学	頭部、顔部、頸部の名称や基準的について学ぶ。 多種多様な人体の構造を知ること社会生活における適応力を身に付ける。	社会生活での美容保健の果たすべき役割を認識しているかを到達目標とする	
		2 講義				
	5月	2 講義	2章 骨格器系	骨の働きと名称について学ぶ。	可動域及び名称について理解することを到達目標とする	
		2 講義	3章 筋系	筋の構造と名称について学ぶ。 筋や神経は美容師の姿勢で痛みやすい場所なので担当教員の実体験を交えながら学習する。	筋系働き及び名称について理解することを到達目標とする	
		2 講義	4章 神経系	脳の働きと構造、自律神経と体性神経について学ぶ。	脳系神経系役割及び名称について理解することを到達目標とする	
		2 講義	5章 感覚器系	五感とその他の感覚について学ぶ。	感覚の持つ役割及び名称について理解することを到達目標とする	
	6月	2 講義	6章 循環器系	血液の成分、心臓、循環、リンパ等について学ぶ。担当教員の実務経験による、リンパマッサージをデモンストレーションで学習しその効果を体感する。	血液リンパの役割及び名称について理解することを到達目標とする	
		2 講義	1～6章の復習	国家試験に出題されやすい箇所をより詳しく学ぶ。小テスト 個別指導	小テストの70％の正答率を目標とする	
		2 講義	7章 呼吸器系	肺の仕組みと気道を学ぶ。	呼吸器系の役割及び名称について理解することを到達目標とする	
	7月	2 講義	8章 消化器系	食物と栄養、消化管を学ぶ	消化器系役割及び名称について理解することを到達目標とする	
		2 講義	1編の復習	国家試験に出題されやすい箇所をより詳しく学ぶ。小テスト 個別指導	小テストの70％の正答率を目標とする	
		2 講義	2編 皮膚科学 1章 皮膚の構造	美容と関わりの深い皮膚の構造や、働きについて学ぶ。	皮膚疾患について理解をすることで社会生活における健康を意識することを到達目標とする 到達度小テスト71％基準以上であること	
		2 講義	2章 皮膚 付属器官の構造	脂腺、汗腺、毛、爪、の働きについて学ぶ。		
2学期	9月	2 講義	3章 皮膚の循環器系と神経系	皮膚の物質代謝を行うリンパ管や、血管について学ぶ。	皮膚疾患について理解をすることで社会生活における健康を意識することを到達目標とする 到達度小テスト71％基準以上であること	
		2 講義	4章 皮膚と付属器官の生理機能	皮膚の作用や、毛、爪の働きについて学ぶ。サロンメイクの経験から考えられる、肌のトラブルを中心に日常知っておくべきケアを学ぶ。 年齢からくるトラブルをサロンでの経験から解決方法や予防のための対策を学ぶ。		
		2 講義	5章 皮膚と付属器官の保健	皮膚と爪や毛を健康に保つためのケア等について学ぶ。 メイク用品やサンケア用品、マニキュアについて学ぶ。		
	11月	2 講義	1～5章の復習	国家試験に出題されやすい箇所をより詳しく学ぶ。 小テスト 個別指導	小テストの70％の正答率を目標とする	
		1 講義				
		2 講義	6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚と付属器官の疾患について学ぶ。実際に美容室で皮膚疾患を発見した時の対応を担当教員の実務経験を基に学ぶ。 またカラー剤でのかぶれの実態やパッチテストのやり方も学び知識をつける。 ネイルの見た目の美しさだけではなく、人体への影響についてサロンの実際のありうる事案を想定し学ぶ。	皮膚関連組織について理解をすることで社会生活における健康を意識することを到達目標とする	
	12月	2 講義			到達度小テスト70％基準以上であること	
	3学期	1月	2 講義	2編 皮膚科学の総復習	国家試験に出題されやすい箇所をより詳しく学ぶ。小テスト 個別指導	化学的見地から皮膚関連組織を中心として理解をした上で社会生活における健康を意識することを到達目標とする 到達度小テスト70％基準以上であること
			2 講義	2編 皮膚科学の総復習		
2月		2 講義	2編 皮膚科学の総復習			
		2 講義	1編 2編の総復習			
		2 講義	1編 2編の総復習			
		2 講義	1編 2編の総復習			
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価				
教科書及び教材		・美容保健教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック ・各章まとめプリント ・模擬問題				
資格対応		美容師国家資格				
備考						

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
香粧品化学 【必修科目】		23期1学年	40	松嶋 浩明 【有り】	東京原宿・自由が丘にてサロン経営35年のキャリアを持つ。 モア・ヘアメイクカレッジ副校長。松竹歌舞伎界会員 パリ・ミラノ・ニューヨークコレクション参加の経歴。 (公社)日本理容美容教育センター主催 文化論・香粧品化学研修課程修了	
【授業概要】		・美容の技術を行う際器具と同様に、多用する香粧品の原料、基礎を学ぶことで人体に安全に使用できるよう学ぶ。 ・香粧品の種類や使用料はその国や地域の平和と文化のバロメーターという事を理解する。				
【講義の目的】		基礎学問の学習を通じて身の回りにある物質や現象を科学的に理解する。将来の仕事に活用する想像力を培う。				
【授業計画】						
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標
1学期	4月	1 講義	香粧品概論1	香粧品の必要条件、製造販売の理解		製品と原料についての知識を持つ ことによりさらに成分管理の大切さを 理解できることを到達目標とする
	5月	2 講義	香粧品概論2	香粧品の品質規制等の理解		
		2 講義	香粧品概論3	香粧品の取り扱い、使用上の注意等の理解		到達度小テスト70%基準以上である こと
		2 講義	香粧品原料1	水性原料と油性原料の特性と使用目的による違い 小テスト		普段使用しているものの中に香粧 品原料医薬部外品と化粧品がある という認識する。 それが生活の中において安全に香 粧品を使用する観点から重要であ ることを認識することを到達目標と する
		2 講義	香粧品原料2	油脂について		
	6月	2 講義	香粧品原料3	ロウ類について		到達度小テスト70%基準以上であ ること
		2 講義	香粧品原料4	炭化水素、その他の油性原料について		
	7月	2 講義	界面活性剤1	成分の特徴・役割についての理解 小テスト		界面活性剤の普段使用している物 の中に医薬部外品と化粧品がある という認識する。 それが生活の中において安全に香 粧品を使用する観点から重要であ ることを認識することを到達目標と する
		2 講義	界面活性剤2	基本的性質について		
2学期	9月	1 講義	界面活性剤3	種類について		到達度小テスト70%基準以上であ ること
		1 講義	界面活性剤4	香粧品への対応について国家試験で高確率で出題されるので特に重要視する。		
		2 講義	高分子化合物1	種類と特性について 小テスト		普段使用しているものの中に医薬部 外品と化粧品があるという認識する。 それが生活の中において安全に香粧 品を使用する観点から重要であるこ とを認識することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上である こと
		2 講義	高分子化合物2	香粧品への対応について		
	10月	1 講義	色材1	色材と香粧品の関係について 小テスト		色材の実際に何を用いてどうなっ たのか、また成分について考え安全 に使用するために用途用法を理解 することを 到達目標とする。
		1 講義	色材2	色材の必要性について		
		1 講義	香料1	香料と化粧品について 小テスト		香料の実際に何を用いてどうなっ たのか、また成分について考え安全 に使用するために用途用法を理解 することを 到達目標とする
		2 講義	香料2	香料の種類調合香料について		
	12月	2 講義	1回～17回総まとめ	まとめ 総理解力テスト		総理解力テスト70%の正答率を 目標とする
3学期	1月	2 講義	基礎香粧品1	皮膚洗浄用香粧品について		生活の中において安全に香粧品を 使用する観点から重要であることを 認識することを到達目標とする。 到達度小テスト70%基準以上であ ること
		2 講義	基礎香粧品2	皮膚の汚れと洗浄作用・石けんの種類とその性質についてマイクロスコープを使用し香粧品における皮膚洗浄等の検証をする。		
		2 講義	基礎香粧品3	製品としての香粧品と成分との関係・その他の洗浄剤について		
	2月	2 講義	メイクアップ用香粧品1	メイクアップ用香粧品の種類と剤型について 小テスト		総理解力テスト。70%の正答率を 目標とする。
		2 講義	メイクアップ用香粧品2	メイクアップ化粧品について		
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価				
教科書及び教材		・香粧品化学教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック ・適宜プリント配布				
資格対応		美容師国家資格				
備考						

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
文化論 【必修科目】		23期1学年	40	田中 謙二郎 【有り】	サロン勤務39年の実務、美容室経営経験現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習・文化論・運営管理研修課程修了
				松嶋 浩明 【有り】	東京原宿・自由が丘にてサロン経営35年のキャリアを持つ。 モア・ヘアメイクカレッジ副校長。松竹歌舞伎界会員 パリ・ミラノ・ニューヨークコレクション参加の経歴。 (公社)日本理容美容教育センター主催 文化論・香粧品化学研修課程修了
【講義の目的】		時代と共に変遷流行する、髪型、化粧、服装を学び理解する。 国家試験合格			
【授業計画】					
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	3 講義	総論	美容、美しさ、等の言葉の理解。化粧の美容との関わりについて考える。 美容全般における時代の変化について形だけではなく、見方、感じ方からその変化を学び現代の美容を考察する。特に日本史に興味を置く。	到達度小テスト70%基準以上であること常識的内容が理解できることを到達目標とする
	5月	2 講義	日本の理容・美容の歴史	髪結い床の誕生から女か美祐の登場、幕府の弾圧と抵抗の時代を学ぶ。 理容師法美容師法の制定から現在までの流れ。大正時代を学ぶ。 理容、美容学校が開校された経緯を学ぶ。	その時代背景を含め時系列で理解することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上であること
	6月	2 講義	ファッション文化史 日本編 縄文 弥生 古墳時代 古代 (飛鳥、奈良、平安時代)	縄文、弥生、古墳時代～紀元前1万年前後から紀元7世紀頃、髪型や服装は土偶や埴輪「魏志倭人伝」「万葉集」から推測されたことを学ぶ。 古代では中国との交流により大陸文化が導入されその強い影響を受けてきたことを学ぶ。	
		3 講義	中世 (平安末 鎌倉 室町 戦国時代)	平安中期には唐風の影響から脱し、国風文化が形成される。 その時代の服装も学ぶ。鎌倉以降の文化の変化を学ぶ。	
	7月	4 講義	近世Ⅰ (戦国末 安土桃山時代) 近世Ⅱ (江戸時代)	戦乱の時代から新興勢力による時代を学ぶ。この時代の、化粧、髪型、衣服の変化はファストファッションにも共通した変化がみられることを学ぶ。	
2学期	9月	2 講義	近世Ⅱ(江戸時代)	江戸時代。身分の区別による髪型の違い。※身分とヘアスタイルについては現代の考えと共通するものがあり、そこから学ぶべきアイディアがあることを学ぶ。 同様に江戸時代の化粧、衣服についても学ぶ。	さらに図書及び映像資料にてその時代背景を含め時系列で理解することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上であること
		3 講義	近世 (明治・大正・昭和20年まで)	江戸幕府倒幕後の新政府による西欧流の近世国家への改革。 髪型、化粧、多用に変化したファッション洋服の登場を学ぶ。	
	10月	2 講義	現代Ⅰ(1945年～1950年代)	第二次世界大戦後の時代の変化。日本の美意識の変化。 理容師、美容師の求められる役割等を学びます。	
		2 講義	現代Ⅱ(1960～1970年代)	高度経済成長期の日本。男女民族のボーダレス化。 理容師、美容師のアドバイザーとしての役割について学びます。	
	11月	4 講義	現代Ⅲ(1980～1990年代)	1985年男女雇用機会均等法の制定による女性の社会進出の時代。時代に伴う社会変化をサロン経験を基に東京・熊本との類似点や相違点を探究学習をする。	
	12月	3 講義	現代Ⅳ(2000年代以降)	現代Ⅲに増してボーダレス化が進みアスリートの影響を強く受ける時代。 現場経験により学んだネイリストやアイリスト等新しい美容のジャンルの職業誕生の経緯を学ぶ。	
3学期	1月	3 講義	古代エジプト ギリシャ ローマ	古代エジプト文化を学ぶ。古代ギリシャ・ローマ時代。 時代背景やファッションの誕生を学ぶ。その時代の発想で作られた60年代の衣服を基になぜ歴史とファッションが繋がるのかを考察する。	イッセイミヤケが発表した衣装をもとに古代エジプトギリシャとの共通点を到達目標とする。またウクライナ キエフバレエ団(白鳥の湖)映像資料にその時代背景を含め時系列で理解することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上であること
		3 講義	古代ゲルマン 中世ヨーロッパ 近世16世紀	古代ゲルマン、中世ヨーロッパ、近世16世紀の時代。時代に影響を受けたファッションやスタイルを学ぶ。※パンツルックにおけるルーツであるゲルマンの現代につながる発想力等を考察する。	
	2月	2 講義	近世ⅡⅢ (17・18世紀)	18世紀のフランスでの貴族のファッション、文化、化粧また戦災優美なロココ文化を学ぶ。※当時を描いた絵画を基に考察する。	
	3月	2 講義	近世ⅠⅡ (18世紀末～19世紀)	フランス革命後の社会変化。階級の象徴として服装への関心が高まる。 産業革命の成果によるファッションの変遷を学ぶ。 ※経験により絵画、音楽ベートーヴェンの人生から時代を考察する。 また生誕250年にあたりメディア等による情報も取り入れる。	
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価			
教科書及び教材		・文化論教科書(日本理容美容教育センター発行) ・適宜レジュメプリント ・適宜インターネット映像 ・画像			
資格対応		美容師国家資格			
備考					

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
技術理論 【必修科目】	23期1学年	89	戌亥 隆星 【有り】	サロン勤務9年の実務経験。現在も現役美容師として現場に立つ ヘアケアマイスター取得 JBCA2級検定取得 (公社)日本理容美容教育センター主催美容技術理論・美容実習 研修課程修了	
			梶田 菜摘 【有り】	美容師歴15年 大阪、熊本とブライダル部門にて15年間の実務経験あり。 日本理容美容教育センター主催 美容議論・実習・保健研修課程修了	
			田中 謙二郎 【有り】	サロン勤務39年の実務、美容室経営経験現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習・文化論・運営管理研修課程修了	
【授業概要】		・技術の裏付けとなる理論を学び「なぜそうなるのか」ということを明確に理解する。 ・姿勢、作り方、薬剤、手技の精度をより化学的根拠に基づき提供できるよう学習する。			
【講義の目的】		実技を行う上で必要不可欠な理論を学ぶことで更なる技術の向上。 国家試験合格			
【授業計画】					
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月・5月	2 講義	序章	美容技術理論を学ぶにあたって 美容理論と美容技術 作業姿勢人体各部の名称を学ぶ	基本となる技術理論を学び社会 生活において身だしなみや ファッション文化が必要なのかを 理解することを到達目標とする
		4 講義	第1章 美容用具	美容技術における用具について学ぶ。 コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイ ロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機等	
		5 講義	第2章 シャンプーイング	シャンプーイング総論 サイド、バックシャンプー、リンス、コンディショナー、トリート メント、スキャルプトリートメント、 ヘッドスパを学ぶ担当教員のサロン経験を活かしシャンプー、トリートメントがどのよう に毛髪に働きかけるか詳しく説明。	
		2 講義	第3章 ヘアデザイン	美容とデザイン。錯覚やデザインの要素、形、大きさ、テクスチャー、方向性の効果、 バランスのシ種類、調和と対比、リズム等を学ぶ。	到達度小テスト70%基準以上で あること
		5 講義	第4章 ヘアカッティング	ヘアカッティングとは。シザーズとレザーの扱い方。 美容刃物、ヘアカッティングの正しい姿勢、ブロッキング、ヘアカッティングの基礎 理論、ベーシックなカット技法、シザーズによるカット技法を学ぶ。 カッティング理論をスタイル展開図を用いて説明。	デザインファッション文化の必要 性を理解することを到達目標と する
	6月	8 講義	第5章 パーマメントウェーピング	パーマメントウェーブの歴史と現在、パーマメントウェーブの理論。 パーマ剤の分類と注意事項。パーマメント技術。ワインディングのバリエーションを 学ぶ。	ファッション文化におけるヘアカ ラーの重要性を理解すること を到達目標とする
		8 講義	7章 ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの概要。ヘアカラーの種類、タイプ別特徴、染毛のメカニズム、色 の基本、毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテスト、染毛剤使用注意事項、道具、 酸化染毛剤について学ぶ。 担当教員のカラーコーディネーターの資格を活かし、カラー剤に関する基礎理 論と実際に施術する際の注意等を体験を用いて説明する。	
		11 講義	序章～5章、7章 まとめ	ワークブック、国家試験過去問題、演習、解答、解説、個別指導 第3章～第5章 まとめ 小テスト 解説 個別指導	
	2学期	9月・10月	7 講義	第6章 ヘアセッティング	ヘアセッティングとは。ヘアパーティング、ヘアシェービング、ヘアカーリング、ヘア ウエーピング、ローラーカーリング、ブロードライ、アイロンセッティング、バックコーミ ング、アップスタイル、ウィッグとヘアピースについて学ぶ。
6 講義			第8章 エステティック	エステティック概論、皮膚の生理と構造、カウンセリング、マッサージ理論、フェイ シャルケア技術とマッサージ。 フェイシャルパック、ボディケア技術とマッサージを学ぶ	到達度小テスト70% 基準以上であること また過去の問題等でより深く学 ぶ
7 講義			第9章 ネイル技術	ネイル技術概論、ネイル技術の種類、爪の構造と機能、爪のカット形状、ネイル技 術と公衆衛生、カウンセリング、ネイルケア、アーティフィシャルネイル、手と足の マッサージを学ぶ	ファッション文化におけるエス テ、ネイルの重要性を理解する ことを到達目標とする
11月・12月		8 講義	序章～9章 まとめ	序章～第8章 まとめ 小テスト ワークブック、国家試験過去問題、解説 個別指 導	到達度小テスト70%基準以上で あること また過去の問題等でより深く学 ぶ
3学期	1月	4 講義	第10章 メイクアップ	メイクアップ概論、顔の形態学的な観察、メイクアップと色彩、皮膚の生理と構造、メ イクアップの道具、スキンケア、ベースメイクアップ、アイメイクアップ、アイブローメイ クアップ、リップメイクアップ、ブラッシュオンメイクアップ、まつ毛エクステンション	幅広く技術理論を学び社会生活 において身だしなみやファッショ ン文化が必要なのかを理解する ことを到達目標とする
		4 講義	第11章 日本髪	日本髪の由来、各部の名称、種類と特徴、日本髪の装飾品、日本髪の結髪道具、 日本髪の結髪技術、日本髪の手入れ、かつらについて学ぶ。	到達度小テスト70%基準以上で あること 古典ファッション文化の必要性を 理解することを到達目標とする
		4 講義	第12章 着付けの理論と技術	着付けの目的、礼装、着物と季節、着物のいろいろ、帯、小物、着物各部の名称。 たたみ方、着付けの一般的要領、留袖着付け技術、振袖着付け技術、帯締め、帯 揚げの結び方、男子礼装羽織、袴着付け技術、羽織の紐の結び方、女子袴着付け 技術、婚礼着付けの注意事項、和装花嫁、洋装花嫁を学ぶ。	古典ファッション文化の必要性を 理解することを到達目標とする
	2～3月	4 講義	第10章～第12章 まとめ	ワークブックと国家試験過去問題 演習 解答 解説 教科書の総復習プリント 演習 解答 解説	国家試験過去問題70%の正答 率を目標とする
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%			
教科書及び教材		・美容技術理論教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック ・DVD(教育センター企画・制作) ・国家試験過去問題			
資格対応		美容師国家資格			
備考					

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴			
運営管理 【必修科目】		23期1学年	10	安楽 麻衣 【有り】	AEAJアロマセラピーアドバイザー、スポーツメディカルトレーナー 星野リゾートASOトップセラピストの経歴を持つ。 現在もブライダリストとして現場に立つ。JBCA認定教員 (公社)日本理容美容教育センター主催 運営・保健研修課程修了。			
【授業概要】		経営の目的を明確にし、継続して顧客を満足させ収益の維持活動の為の責任を負うことが経営者としての根幹である。そのような考えのもと経営や経営者にとっての基本的考え方を考察する。						
【講義の目的】		経営者の視点、人という資源・従業員としての視点、サービスデザインの学習を深め理解する 国家試験合格						
【授業計画】		全編講義						
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標			
3学期	1月～ 2月	2 講義	顧客が求める価値、多様性	ホスピタリティ、サービスの考え方をサロンでの実体験を交え講義	サービスを受ける側とする側両 面からマーケットを考えることを 到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上で あること			
		3 講義	マーケティング	美容界の現状についてをディーラー等からの話も交え講義				
	2月	3 講義	人の役割、接客について 接客の実践 トラブルと対応	接客の実践とトラブルについて※サロンで経験したリアルな体験も交え 昨今多くなってきた現状への対応や対策を学ぶ。			講義テーマを理解することで運 営管理が生活の中に役立つこと を知ることというのを到達目標とす る 到達度小テスト70%基準以上で あること	
		2 講義	まとめ	25問のテスト実施				
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価						
教科書及び教材		・運営管理教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック ・DVD(教育センター企画・制作) ・国家試験過去問題						
資格対応		美容師国家資格						
備考								

授業科目名 【必修】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
美容実習 【必修科目】		23期1学年	510	田中 謙二郎 【有り】	サロン勤務39年の実務、美容室経営経験現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習・文化論・運営管理研修課程修了
				戌亥 隆星 【有り】	サロン勤務9年の実務経験。現在も現役美容師として現場に立つ ヘアケアマイスター取得 JBCA2級検定取得 (公社)日本理容美容教育センター主催美容技術理論・美容実習 研修課程修了
				桝田 菜摘 【有り】	美容師歴15年 大阪、熊本とブライダル部門にて15年間の実務経験あり。 日本理容美容教育センター主催 美容議論・実習・保健研修課程修了
【授業概要】		美容技術理論に従い、実際の手技、姿勢を把握し、国家試験の課題のみだけではなく実際のサロン現場で即戦力となる技術を習得する。			
【講義の目的】		美容師国家試験の合格レベルの技術、また就職後に即戦力となるような技術の習得。国家試験合格			
【授業計画】					
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	6 講義	国家試験の課題について	国家試験の課題についてオールウェーブ、ワインディング、カットについての説明	国家試験の課題を明確に理解し、ワインディングの基本動作、使用物の正しい取り扱い方ができるようになることを到達目標とする
		12 講義、演習	ワインディング	基本動作 道具やウィッグの取り扱い方	
		12 講義、演習、実習		コーム、ゴムの正しい持ち方 スライスのとり方の練習	
		12 講義、演習、実習		ブロッキングの構成と実践個別指導	
		6 講義		ワインディング全体の構成の講義(プリント配布)	基礎理論の理解を到達目標とする
		3 講義	シャンプーの理論と実習	美容実習1の教科書を用いて理論、作業を学ぶ。	シャンプーの知識と顧客満足度を知り美容の楽しさを学ぶ。 そのことで社会生活がより豊かなものになる。
		12 演習・実習	シャンプー実習	バックシャンプーの手順を学ぶ。デモンストレーションにて美容師の手技を学ぶ。 相モデルで実践トレーニングを行う。	ひいては社会全体の幸福の源になりうる大事なことであるということを認識することを到達目標とする。
	5月	12 実習	ワインド	ワインディング上巻き個別指導	オンベースと、2分の1オフベースを正しく理解する。
		12 演習、実習		ワインディング下巻き個別指導	
		12 講義、演習、実習		センターの構成と実践	
	3 講義	カラー理論	美容室で使用するカラー剤を用いてカラーチャートを使用し、髪質に合わせ、濃度、塗布量の調節を学ぶ。 個別に対応する力をつける。	カラーの知識習得とカラー塗布の正しい技術の習得を到達目標とする。	
	5～6月	12 演習、実習	カラー実習		頭皮で染まりにくいネープの部分等の理論を学び、正確な手順で塗布できるように学習する。 デモンストレーションデモンストレーションにて美容師の手技を学ぶ。 相モデルで実践トレーニングを行う。
	6月	14 講義、演習、実習	ワインディング	右側半頭分の構成と実践	立ち位置、角度、ラウンドの意味を正しく理解する。
		14 講義、演習、実習		左側半頭分の構成と実践	
		4 講義、演習、実習		センター、右、左、の角度テンション、巻き納めに注意し全頭を巻き上げる。 ブロッキング(5分)～ワインディング(30分)全頭 タイム計測	時間内に全頭仕上げる。
	7月	61 実習	ワインディング	センター、右、左、の角度テンション、巻き納めに注意し全頭を巻き上げる。 ブロッキング(5分)～ワインディング(30分)全頭 タイム計測	時間内に全頭仕上げる。
2学期	9月	5 講義、演習	オールウェーブ	国家試験の課題についてオールウェーブの基本動作と道具の取り扱い方	7段構成を理解する
		24 講義、演習、実習		フィンガーウェーブの構成と実践ローションでのコンディション作り cカーブ、リッジの作り方 1段目の毛流れ馬蹄形～1～3段目の作り方	正しいコンディション作りが出来るようになるウェーブブリッジが正しく作れるようになる
		24 実習		各カールの構成と実践。スカルプチュアカール 右リフト、左リフトの作り方	構成確認を行いながら時間内に仕上げることを到達目標とする
	10月	65 実習	オールウェーブ	各カールの構成と実践。スカルプチュアカール 右リフト、左リフトの作り方 【内36時間実務実習】	
	11月	16 実習		1段目～3段目までの構成確認	
		21 実習		1段目～4段目までタイム計測(30分)	
		21 実習		1段目～4段目までの構成確認	
	12月	28 実習	ワインディング オールウェーブ	ワインディング (ブロッキング3分 全頭25分) オールウェーブ (1段目～5段目までタイム計測(35分))	
3学期	1月	8 実習	オールウェーブ	オールウェーブ (1段目～5段目までタイム計測(21分))	構成確認を行いながら時間内に仕上げることを到達目標とする
		6 講義、演習、実習		メイボールカールの作り方	ステムの角度が0度に近いフラットなカールに仕上げる。
		3 実習		メイボールカールまでタイム計測(24分)	時間内に仕上げる
		6 講義、演習、実習		クロッキノールカールの作り方	正しい作り方、ピンギが出来ようになる
		12 実習	オールウェーブ	オールウェーブ全頭 タイム計測(30分)	時間内に仕上げることを到達目標とする
	2～3月	64 実習	ワインディング オールウェーブ	ワインディング全頭タイム計測 (ブロッキング込み23分) オールウェーブ全頭タイム計測 (27分)	
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%			
教科書及び教材		・美容実習教科書(日本理容美容教育センター発行) ・実習道具一式			
資格対応		美容師国家資格			
備考					

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
接遇と コミュニケーション 【選択科目】		23期1学年	40	安楽 麻衣 【有り】	AEAJアロマセラピーアドバイザー、スポーツメディカルトレーナー 星野リゾートASOトップセラピストの経歴を持つ。 現在もブライダリストとして現場に立つ。JBCA認定教員 (公社)日本理容美容教育センター主催 運営・保健研修課程修了。
【授業概要】		・ビューティ・コーディネーター検定3級認定テキストを学ぶ。 ・現場で役立つ知識を修得し、社会人としてのマナー、コミュニケーションを学ぶ。			
【講義の目的】		ビューティ・コーディネーター検定3級取得。現場での知識を学び就職後即戦力となる知識習得			
【授業計画】					
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	5月	2 講義	ホスピタリティとビジネススキル	ビューティーコーディネータ検定3級 概要	重要ポイントの認識力向上
		4 講義	サロンにおけるビジネスキャリア	社会人としての職業意識 美容業で働くということ。 サロン勤務 仕事への取り組み方 顧客志向の姿勢。 担当教員の実務経験を基に実際のサロンでの取り組み方を学ぶ。	コミュニケーション力の重要性を理解する。 就職後の接客業務への知識習得
	6月	2 講義	ホスピタリティを発揮する ビジネスコミュニケーション	ホスピタリティの考え方 言葉によらないコミュニケーション。 サロンスタッフとしての身だしなみ スタッフ実際のファッション等現状を学ぶ。	ファッションの知識を習得する
		4 講義	サロン内のコミュニケーション	スタッフ間の円滑なコミュニケーション 就業中の基本マナー。 指示の受け方と報告の仕方 報告書の書き方 会議への参加。 サロンワークを円滑に行うためのスタッフ間のコミュニケーションのとり方を学ぶ。	就業中のマナーの習得報告書 を作成できるようになる
	7月	6 講義、演習	接客の基本と 電話の受け方、かけ方	印象の良い聴き方と話し方 敬語表現と正しい言葉使い、接客の基本、電話対応 の基本 電話の受け方、かけ方 名刺交換の仕方。 担当教員の現場での知識や実際の現場を想定しロールプレイングを用いて臨機 応変での電話対応を学ぶ。	電話対応、敬語の使い方、名刺 交換が出来るようになる
		2 講義	サロンのメディア活動 ビジネス用語集	パソコンの活用 電子メールの書き方 表とグラフの読み方、ホームページと情報 の管理	表、グラフを読み取れるように なる
2学期	9月	2 講義	ビューティコーディネーターの仕 事 ビューティコーディネーターとは	トータルビューティのトレンド ビューティーコーディネーターの役割、能力、キャリア プラン	重要ポイントの認識力向上
		4 講義	生産性を高める フロアマネジメントワーク	ビューティーコーディネーターの一日、店舗内の cleanliness顧客管理とスタイルと の連携 お客様を誘導する 受付・接客時の言葉使い、施術中のお客様への対応 会計業務と次回予約 店販 品の販促 、アフターカウンセリングの基本とお見送り テキストに記載されていない実際のサロンワークでおこりうる接客を応用編として習 得する。	基本的な会計業務、次回予約 のとり方が出来るようになる。
		2 講義	「美意識」をコーディネートする	おしゃれをするには トレンドを理解するには アドバイスするための分析	アドバイスするための分析が 出来るようになる
		2 講義	ファッションを理解する	生き方、年齢などによるファッション、ファッションの歴史を知りファッションを先読み する 日本独自の美容トレンドが生まれるまで オリジナリティある美容の提案へ	講義内容を習得し接客の際に 必要となる提案が出来るように なる
		2 講義	美容基礎理論	毛髪理論 頭皮科学	理論や知識の習得、接客時の 際、解説や提案が出来るように なる
	10月	2 講義	おしゃれの基本	色の基礎知識 パーソナルカラーとヘアカラー メイクアップの基本 顔型とヘアスタイル実際にアドバイスできるようグループ学習でカラーの似合わせを 行う	パーソナルカラーを利用できる ようになる
		2 講義	美容メニューの基本知識	カット施術、パーマ施術、カラー施術、ヘアケア施術の名称と解説 お客様のニーズに合わせたメニュー提案とそれに伴う技術の基礎知識を習得す る。	各施術の基本的知識習得、お 客様へのメニュー提案、技術説 明が出来るようになる
		2 講義	サロンにある器具・ 用具の基本知識	施術に必要な器具・用具類の名称と解説 実物を見ながら使い方や使用上の注意点を学習する。	器具・用具の基本的知識の習得
	11月	2 講義	模擬テスト	ビューティーコーディネーター検定3級 模擬テスト 解答 解説個別指導	模擬テスト正答率80%の正答率 を目標とする
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%			
教科書及び教材		ビューティーコーディネーター検定認定テキスト 3級			
資格対応		ビューティーコーディネーター検定 3級			
備考					

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
総合技術 【選択科目】		23期1学年	60	田中 謙二郎 【有り】	サロン勤務39年の実務、美容室経営経験現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習・文化論・運営管理研修課程修了	
				戌亥 隆星 【有り】	サロン勤務9年の実務経験。現在も現役美容師として現場に立つ ヘアケアマイスター取得 JBCA2級検定取得 (公社)日本理容美容教育センター主催美容技術理論・美容実習 研修課程 修了	
				桝田 菜摘 【有り】	美容師歴15年 大阪、熊本とブライダル部門にて15年間の実務経験あり。 日本理容美容教育センター主催 美容議論・実習・保健研修課程修了	
				安楽 麻衣 【有り】	AEAJアロマセラピーアドバイザー、スポーツメディカルトレーナー 星野リゾートASOトップセラピストの経歴を持つ。 現在もブライダリストとして現場に立つ。JBCA認定教員 (公社)日本理容美容教育センター主催 運営・保健研修課程修了。	
【授業概要】		・必須学科を元にし、より専門的な技術、ケミカル、文化、ファッションを習得するサロン現場で今行われているものを習得し職業を高める				
【講義の目的】		サロンワークで不可欠な技術の理論習得及び基本技術習得				
【授業計画】						
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標
1学期	4月	3 講義	サロン現場スタッフの体験談	アシスタント～スタイリストの仕事内容や、お客様への対応、現在の美容室の状況を学習する		美容を業とする自覚を養うことを到達目標とする
		4 講義 実習	カラーワークのケミカル講座	カラーというものをよく理解する為に基礎の土台となる色の配色を知るため、絵の具を活用して学習する		商剤の成分と特徴を理解し、発色仕方を理解する
	5月	4 講義	パーマワークのケミカル講座	パーマの原理+ワインディングの仕方での質感の違い 担当教員の現場での経験を基に流行のパーマスタイルを学習する		質感と特徴を理解し、発色仕方を理解することを到達目標とする
	7月	3 実習	ウィッグを使用しての実習	実際の美容室で使用している薬剤を用いての実習。		商剤の成分と特徴を理解し、発色仕方を理解することを到達目標とする
		2 講義、実習	個人でスタイルブック作成	ファッション紙等を切り取り、自分のスタイルブックを作成することにより自分の好みを知る。		TPOに応じたヘアアレンジの習得することを到達目標とする
		2 講義、実習	個人でスタイルブック作成	ファッション紙等を切り取り、自分のスタイルブックを作成することにより自分の好みを知る。		TPOに応じたヘアアレンジの習得することを到達目標とする
2学期	9月	3 実習	作品作り①	ヘア・ファッション・メイク・トータルビューティでの作品作り、準備グループ学習		作品作りにおいてコミュニケーションを身に付け、スタイル、テイストを理解する
		3 実習	ヘアショー見学	次年度に向け、2年生が出演するヘアショーの見学。		発想力や創造力、合わせて表現力を身に付け社会人となり感性が必要とされる多様な条件に対応できる基礎が身につくこと。それにより社会生活が豊かになるということを知る。そのことを到達目標とする。
		4 講義、演習、実習	現役ブライダリストによるヘアアレンジ講座	現役ブライダリストによる簡単なヘアアレンジからから正装に合うヘアアレンジまでを学ぶ。 成人式等、流行の変化を学ぶ。		
	10月	6 実習	グループワークによるスタイルブックの作成	25回～27回で学習したことをグループで行い、テイストごとに分けていく		TPOに応じたヘアアレンジの習得することを到達目標とする
	11月	4 講義、演習、実習	模擬サロン	実務実習の反省を活かし、実習室に模擬サロンをつくりお客様やスタッフを再現する。 模擬サロンから色々々な 接客のやり方を学び視野を広げる。		正しい言葉使い、提案力を身に付ける
	12月	6 実習	カラーセミナー実習	カラーの明るさ デザインに合わせを学習しカウンセリングを相モデルで行い、カウンセリング力、コミュニケーション力を学ぶ		発想力や創造力、合わせて力を身に付け社会人となり感性が必要とされる多様な条件に対応できる基礎が身につくこと。 それにより社会生活が豊かになるということを知る。そのことを到達目標とする。
		2 講義、実習	個人でスタイルブック作成	ファッション紙等を切り取り、自分のスタイルブックを作成することにより、自分の好みを知る。		
		2 実習	作品作り②	ヘア・ファッション・メイク・トータルビューティでの作品作り 準備 グループ学習		
3学期	2月	3 実習	グループワークによるヘアアレンジの実習	24～30回で学習したことを、モデルを使用した実習		TPOに応じたヘアアレンジの習得することを到達目標とする
		3 講義、実習	個人でスタイルブック作成	ファッション紙等を切り取り、自分のスタイルブックを作成することにより自分の好みを知る。		
	3月	6 実習	作品づくり③ コンテスト	グループ学習 グループ内の1人をモデルとし、テーマに合わせ作品を作る。デザイン力、感性だけではなくチームワーク力、コミュニケーション力つける。スタイリストになってからのトータルコーディネートの力をつける。		就職後、即戦力になれるよう総合的に力をつける
成績評価の方法と基準		技術評価70％ 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30％				
教科書及び教材		配布プリント 各項目に美容用具一式				
資格対応						
備考						

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
毛髪診断 【選択科目】		23期1学年	60	田中 謙二郎 【有り】	サロン勤務39年の実務、美容室経営経験現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習・文化論・運営管理研修課程修了	
				戌亥 隆星 【有り】	サロン勤務9年の実務経験。現在も現役美容師として現場に立つ ヘアケアマイスター取得 JBCA2級検定取得 (公社)日本理容美容教育センター主催美容技術理論・美容実習 研修課程修了	
				梶田 菜摘 【有り】	美容師歴15年 大阪、熊本とブライダル部門にて15年間の実務経験あり。 日本理容美容教育センター主催 美容議論・実習・保健研修課程修了	
【授業概要】		・技術理論で学んだ理論を基に サロンワークで不可欠な技術メニューの実践を行う。 ・また毛髪理論やケミカルの知識を習得させる				
【講義の目的】		カラーリングの基礎から応用までの知識を習得 就職後に即戦力となる技術の習得 Hair Care Meister プライマリーコースの取得				
【授業計画】						
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標
2学期	10月	3 講義	ホイルデザイン理論	カラーリストや現役美容師の体験談を基に、今流行のデザインから骨格修正のデザインを学習する		1学期で習得した技術にホイルデザインワークを取り入れデザインカラーの技術レベルを上げる。 骨格に合わせたカラーを習得す。 以上の事項を到達目標とする
		3 講義	デザインカラー理論			
		3 演習、実習	ブリーチ塗布	ウイッグを使用し、ブリーチ塗布を実習する		
		3 実習	デザインカラー①	ウイッグを使用し、作品を作る		
		3 実習	デザインカラー②	モデル実習。全体のカラーとデザインカラーの色を変え染める。 全体のカラーとデザインがしっかり染まっているのかを重点に施術する。 担当者は作品のプレゼンテーションを行う。		
	11月	18 講義	作品作り①	ヘア・ファッション・メイク・トータルビューティでの作品作り 準備、グループ学習		
		6 実習	パーソナルカラー実習①～③	カウンセリングを基にモデルによるカラー実習を行う。 担当者は作品のプレゼンテーションを行う。 ファッション、肌の色、目の色等、色々な個性を基にヘアカラーを提案できる力をつける。		
3学期	1月	21 講義	作品作り②	ヘア・ファッション・メイク・トータルビューティでの作品作り 準備、グループ学習		TPOに応じたヘアアレンジの習得することを到達目標とする
成績評価の方法と基準		技術評価70％ 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30％				
教科書及び教材		HairCare MaisterBook(日本ヘアマイスター協会)				
資格対応		日本ヘアケアマイスター協会 プライマリーコース				
備考						

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
ブライダル 【選択科目】		23期1学年	45	梶田 菜摘 【有り】	美容師歴15年 大阪、熊本とブライダル部門にて15年間の実務経験あり。 日本理容美容教育センター主催 美容議論・実習・保健研修課程修了	
				安楽 麻衣 【有り】	AEAJアロマセラピーアドバイザー、スポーツメディカルトレーナー 星野リゾートASOトップセラピストの経歴を持つ。 現在もブライダリストとして現場に立つ。JBCA認定教員 (公社)日本理容美容教育センター主催 運営・保健研修課程修了。	
【授業概要】		・ブライダルの専門知識・洋装のヘアメイク理論を学ぶ ・ヘアメイクやドレスの扱い、浴衣、実技の習得 ・選択による授業				
【講義の目的】		専門知識にふれ、技術訓練を重ね、基礎を知る。				
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標
【授業計画】						
1学期	5月	3 講義	結婚式について学ぶ	結婚式について詳しく学び、当日の流れなど理解する		接客やトレンド等の知識を得ることを到達目標とする
		3 講義	ブライダルの仕事とは	ブライダルに従事する者として接遇を学び、理解する。		
		3 講義	ブーケについて	ブーケのデザインや名前、花の種類について学ぶ。 実物のブーケで形や重さ見え方を知る。		種類や名称を覚えることを到達目標とする
		3 講義	ドレスについて	ドレスライン(形)の種類を学び、様々な小物やパーツについて学ぶ。		ドレスの種類やパーツの基本の名称を答えられることが達成目標とする。
	6月	3 講義、演習	ブライダルメイク・ ヘアセットの理論	日常のメイクとの違いや、写真や動画映りを考えたメイク、衣装に似合う崩れにくい ヘアセットなど理論的にも学び、講師のデモンストレーションをみる。		日常のメイクや衣装を考えて、ヘアメイクの提案ができることを到達目標とする
		3 実習				
		3 演習、実習	ブライダルメイク実践	前回学んだことをもとに、対お客様を考え、似合わせを行い普段メイクとは違うメイクを提供する。		フルメイクを30～40分で仕上げることを到達目標とする
		3 実習				
	7月	3 実習	ヘアセット実践	丁寧なおお客様の毛髪の取り扱い方を考えたうえで、ピン打ちやブラシを使用し、毛髪をまとめる。		ピン打ちや丁寧なおお客様への声掛けが出来るようになることを到達目標とする。
		3 実習	ヘアセット実践、着物の初歩的な基礎や 浴衣の着付けを学ぶ	浴衣のお客様へ対応できるように浴衣の着付けと着物に似合うヘアセットを学び実践する。		30分以内に着付けできること、似合うアップスタイルの提案をし、提供できることを到達目標とする
		3 実習	ヘアメイク実践①	相モデルで接客のデモンストレーションを交え実際にヘアとメイクにわかれ一つの作品を仕上げる。個別指導。		モデルの要望に応え、ヘアメイクを提供し、深く技術を学び、技術を得ることを到達目標とする
2学期	9月	3 実習	ヘアメイク実践②			ヘアメイクを二人に分れそれぞれ45分で仕上げる
		3 講義、演習	ドレス着脱とトータルでの作品づくり①	ドレスとのバランスを考えたヘアメイクの提供、ドレスの着脱の仕方やドレスの裾の持ち方を学ぶ。モデルがきれいな写りになるようカメラの角度やボーjingを学ぶ。		ドレス着用、写真撮影までのトータルで作品を仕上げることを到達目標とする
3学期	1月	3 実習	トータルでの作品づくり②	担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ。 かつらの種類・取り扱いの知識を得る。		国家試験対策や専門的な知識を深め、得るまでを到達目標とする。
		3 講義、演習、実習	かつらの理論、かつらの実践			
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%				
教科書及び教材		適宜インターネット映像 実用本				
資格対応						
備考						

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴		
アイデザイン 【選択科目】		23期1学年	45	清水 美千子 【有り】	サロン勤務7年の実務経験。内2年はアイリストとしても兼務。 TGCKUMAMOTO2020年のステージにてモデルのヘアセットを担当。		
【授業概要】		まつ毛エクステンションの理論、基本技術を学ぶ。					
【講義の目的】		就職後即戦力となれる知識の習得。					
【授業計画】							
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標		
1学期	5月	3 講義	まつ毛エクステンション概論 まつ毛エクステンション用具	まつ毛エクステンション概要・用具の名称や取扱方	基礎知識、道具等の正しい扱い方を身につけ、テーマに沿ったデザインができるようになることを目標とする。		
		3 講義、実習	衛生管理 ツイザーワーク テーピング実習	病原生物について・消毒の重要性 ツイザー使用方法・デモンストレーション・テーピング方法			
		3 講義、実習	衛生管理 ウィッグ実習	消毒法の種類と手順・施術前の手指消毒 ウィッグを使ったテーピング実習・ウィッグを使った装着実習 (Jカール)			
		3 実習	ウィッグ実習	ウィッグを使ったテーピング実習・ウィッグを使った装着実習 (Jカール)			
	6月	3 実習	リムービング実習	リムービングの方法・ウィッグを使ったリムービング実習		基礎知識、道具等の正しい扱い方を身につけ、テーマに沿ったデザインができるようになることを目標とする。	
		3 講義	保健 カウンセリング デザイン	眼、脛、まつ毛に関する知識・注意すべき疾患や病態について カウンセリングの留意点・まつ毛エクステンションのデザイン			
		3 実習	ウィッグ実習	ウィッグを使った装着実習 (Cカール)			
		3 実習	ウィッグ実習	ウィッグを使った装着実習 (Cカール)			
	7月	3 実習	ウィッグ実習	ウィッグを使った装着実習 (デザイン別) セクシーライン・キュートライン・グラマラスライン			基礎知識、道具等の正しい扱い方を身につけ、テーマに沿ったデザインができるようになることを目標とする。
		3 実習	ウィッグ実習	ウィッグを使った装着実習 (デザイン別) セクシーライン・キュートライン・グラマラスライン			
		3 実習	作品作り	作品作り・テーマに沿ったデザイン (ウィッグ) メイクまで施し、個々で自由な作品づくりをする			
		3 実習	作品作り	作品作り・テーマに沿ったデザイン (ウィッグ) メイクまで施し、個々で自由な作品づくりをする			
2学期	9月	3 実習	作品作り	作品作り・テーマに沿ったデザイン (ウィッグ) メイクまで施し、個々で自由な作品づくりをする			
		3 実習	カウンセリング ウィッグ実習	カウンセリングのロールプレイング・ウィッグを使った装着実習			
3学期	1月	3 実習	相モデル実習	相モデルでのテーピング、前処理・装着実習・個人指導	カウンセリングからデザイン、装着ができるようになることを目標とする。		
		3 実習	相モデル実習	相モデルでのテーピング、前処理・装着実習・個人指導			
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価 (評価課題10項目による減点方式)30%					
教科書及び教材		まつ毛エクステンション (教科書)・練習用ウィッグ・医療用テープ・ツイザー・シザーズ・コーム・エアブロー・グルー・グループレート・リムーバー・まつ毛エクステンション・前処理剤・手指消毒液・精製水・コットン・綿棒・タオル類・ペーパータオル					
資格対応							
備考							

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
メイク 【選択科目】		23期1学年	60	升田かよみ (外部講師) 【有り】	JMA学内認定講師 フォトコンテスト受賞作品メイク担当 所属サロンの看板メイクなども担当 現役美容師としてサロンに27年勤務
【授業概要】		・日本メイクアップ技術検定試験2級・3級公式テキストを学ぶ。 ・現場で必要なスキルを身に付ける。 ・技術だけではなく、分析力・マナー・コミュニケーションを学ぶ。			
【講義の目的】		・日本メイクアップ技術検定試験2級・3級取得。 ・就職後、美容業界で働く上で必要となる技術を養う。			
【授業計画】					
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	5月	3 講義	メイク理論/顔分析	メイク理論肌の構造、肌分析、スキんケア方法、道具配布、道具の取り扱い方を学ぶ。 骨格から受ける印象、目や鼻等のパーツから受ける印象等お顔から受ける印象を学ぶ。 担当教員の実務経験から実際にお客様の悩みが多い肌トラブル、肌トラブルへの	顔分析による印象の違い、正しい道義の使い方の習得を到達目標とする
		3 講義、演習	スキんタイプ理論/ ポイントメイククレンジング実習	スキんタイプについて学ぶ。 ポイントメイククレンジングの仕方、手順を学ぶ。 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ。	ポイントメイククレンジングの手技 手順と手技の習得を到達目標とする
	6月	3 実習	ポイントメイククレンジング実習	ポイントメイククレンジング手技の復習・個別指導。	
		3 講義、実習	スキんケア理論/ クレンジング実習	スキんケアについて学ぶ。 クレンジングの手順を学ぶ。 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ。	スキんケアの手順、クレンジング の手順、手技の習得を到達目標とする。
	7月	3 実習	クレンジングの復習/ スキんケア実習	クレンジング個別指導。 スキんケアの手順、手技を学ぶ。	
		3 実習	クレンジング/ スキんケアモデル実習	ポイントメイククレンジング～スキんケアのモデル実習。 力加減や顔の立体に合わせた手順、手技を学ぶ。	顔の形を理解した手順、手技の 習得を到達目標とする
		3 実習	実技復習/実技テスト	1学期の総復習を行う。 それに準じた個別指導。	これまでの手技の習得を到達目標とする。
2学期	9月	3 講義、演習	ベースメイク理論 ベースメイク実習	ベースメイクの理論を学ぶ。 メイクアップベース、コントロールカラーを担当教員がデモンストレーション。 手技を学ぶ。	理論の理解しモデルに合わせた 色選びを到達目標とする。
		3 実習	ファンデーション理論 ファンデーション実習(手技)	ファンデーションの理論を学ぶ。 ファンデーションの手順を学ぶ。 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ。	理論の理解しモデルに合わせた 色選び、手技の習得を到達目標とする
	10月	3 講義、演習	顔分析/ ハイライト・ローライト・チーク	ハイライト・ローライト・チークの理論を学ぶ。 モデルの顔に合わせた位置に色をのせる。 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ	顔の形を理解した上でモデルに 合わせたメイク習得を到達目標とする
		3 実習	顔分析/ アイブロウ・シャドウ・アイライン	アイブロウ・アイシャドウ・アイラインの理論を学ぶ。 モデルの顔に合わせた形、長さを理解する。 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ。	モデルの顔分析を基にメイクを 習得することを到達目標とする
		3 講義、実習	顔分析/ ビューラー・マスカラ・リップ	ビューラー・マスカラ・リップの理論を学ぶ。 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ。	技術の手順、手技の習得を到達 目標とする
	11月	3 実習	ファンデーション実習(ブラシ)	ブラシを使用したファンデーションの手順を学ぶ。 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ。	ブラシを使用した技術を習得する ことを到達目標とする
		3 講義、実習	総手技確認	これまで習得した技術の手順、手技の確認。 苦手なところの個人指導。	学習した技術の手順、手技の習 得を到達目標とする
		3 実習	検定3級手技実習	実際の検定試験意識した実習。 技術、手技の個人指導。	検定を想定した時間配分を習得 することを到達目標とする。
		3 実習	検定2級手技実習	実際の検定試験意識した実習。 技術、手技の個人指導。	
3学期	1月	3 実習	検定3級手技実習	実際の検定試験意識した実習。 技術、手技の個人指導。	検定を想定し時間内に入る事を 到達目標とする。
		3 実習	検定2級手技実習	実際の検定試験意識した実習。 技術、手技の個人指導。	検定を想定し時間内に入る事を 到達目標とする。
		3 実習	総復習	実際の検定試験意識した実習。 技術、手技の個人指導。	検定を想定し時間内に入る事を 到達目標とする。
	2月	6 実習	検定試験	日本メイクアップ技術検定 3級試験 日本メイクアップ技術検定 2級試験	受験者全員が検定合格する事を 到達目標とする。
成績評価の方法と基準		日本メイクアップ技術検定に合格する事。			
教科書及び教材		・メイクテキスト(日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト) ・メイク道具一式			
資格対応		日本メイクアップ技術検定 3級及び2級			
備考					

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
サロンカット 【選択科目】		23期1学年	105	田中 謙二郎 【有り】	サロン勤務39年の実務、美容室経営経験現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習・文化論・運営管理研修課程修了
				戊亥 隆星 【有り】	サロン勤務9年の実務経験。現在も現役美容師として現場に立つ ヘアケアマイスター取得 JBCA2級検定取得 (公社)日本理容美容教育センター主催美容技術理論・美容実習 研修課程 修了
【授業概要】		・実践に通用するテクニックの習得 ・国家試験課題によるカット以外の実践的なデザインカットの技術を習得する。 ・選択による授業			
【講義の目的】		基礎理論を基に知識・技術を学び、作品を仕上げる。 就職後即戦力となる技術を習得する。 全てのカットはベーシックのワンレングス、グラデーション、セームレーヤーの組み合わせなのでベーシックを重点に姿勢、切り方を習得する。			
【授業計画】 カット① ブライダル／カット					
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	5月	9 講義、演習、実習	カット	シザーの持ち方、シザー運行、基本姿勢を学びスタイリストとしての土台作りをする。 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ。 ウィッグを使用し、実践する。刃物を取り扱うにあたっての安全性を第一に考え持ち方、動かし方、自分の体を壊さないような姿勢作りを学ぶ	基本を理解し正確にできることを到達目標とする
		9 講義、演習、実習	ワンレングスカット①	ワンレングスカット(ベーシック) 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ 個別指導	ワンレングスカット(ベーシック)が出来るようになる全頭100分で切り終えることを到達目標とする
	6月	9 実習	ワンレングスカット②	ワンレングスカット(ベーシック)タイム計測 個別指導	
		9 講義、演習、実習	グラデーションカット①	グラデーションカット(ベーシック) 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ個別指導	グラデーションカット(ベーシック)が出来ようになる全頭100分で切り終えることを到達目標とする
	7月	9 実習	グラデーションカット①	グラデーションカット(ベーシック)タイム計測 個別指導	
		9 講義、演習、実習	セームレーヤーカット①	セームレーヤーカット(ベーシック) 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ個別指導	セームレイヤーカット(ベーシック)が出来ようになる全頭100分で切り終えることを到達目標とする
2学期	9月	3 実習	セームレーヤーカット②	セームレーヤーカット(ベーシック)タイム計測 個別指導	
		9 講義、演習、実習	刈り上げスタイル①	刈り上げスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ 現代のメンズスタイルの流行を作ることが出来るようになる 個別指導	実践的技術を学ぶことでより社会での職業意識を持つことを意識する。 また各スタイルについて理論を理解し正しく実践することを到達目標とする
	10月	9 講義、演習、実習	2ブロックスタイル	2ブロックスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ 現代のメンズスタイルの流行を作ることが出来るようになる 個別指導	
	11月	12 講義、演習、実習	ベリーショートスタイル	ベリーショートスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ個別指導	作品評価 (評価課題10項目による減点方式)
	1月	15 講義、演習、実習	マッシュスタイル	マッシュスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ個別指導	
3学期	2月	3 実習	自由制作スタイル	自由制作スタイル生徒間での投票を行い、色々な作品を見て学ぶことにより、感性を磨かせる。	基本を理解し正確にできたかを評価しそれを到達目標としてみる
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%			
教科書及び教材		カット用具一式 ウィッグ			
資格対応					
備考					

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴		
ネイル 【選択科目】		23期1学年	60	黒木 貴美子 (外部講師) 【有り】	ネイリストとして20年以上の実務経験。 スクール講師の経験有り。 NPO法人 日本ネイリスト協会 認定講師取得 NPO法人 日本ネイリスト協会 本部認定講師		
【授業概要】		ネイルの理論、基本技術を学ぶ。 検定取得に向けての知識、技術の習得。					
【講義の目的】		ネイル検定取得。 就職後即戦力となる知識の習得。					
【授業計画】							
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標	
2学期	10月	3 講義	爪の構造と働き	ネイル歴史 ネイル技術体系 爪の構造と働き		爪の構造と働きを理解する	
		3 演習	皮膚科学 生理解剖学	ネイルの為の皮膚科学 ネイルの為の生理解剖学Ⅰ、Ⅱ		皮膚科学・生理解剖学の理解	
		3 講義	病気とトラブル	爪の病気とトラブル 消毒法 マッサージ理論		適切な判断が出来るようになる ため基礎知識の習得	
		3 演習	化粧品学と理論	化粧品学(ネイル用化粧品) 色彩理論 技術理論		理論の理解	
		3 演習	カウンセリング	ネイルカウンセリング プロフェッショナリズム サロン環境		基本的なカウンセリングが出来る ようになる	
	11月	3 演習	テーブルセッティング デモンストレーション	テーブルセッティング ネイルケアデモンストレーション ブレマネキュア 手指消毒 ファイリング		テーブルセッティングの習得と手 指消毒	
		3 演習	キューティクルクリーン	キューティクルクリーン		キューティクルクリーンの習得	
		3 演習	カラーリング	カラーリング ポリッシュオフ		カラーリングを理解し、習得する	
		3 演習	カラーリング	カラーリング ポリッシュオフ			
		3 演習	フラットアート実践練習	フラットアート(ベーシック)		フラットアートを習得	
		3 演習	フラットアート実践練習	フラットアート(ベーシック)			
		3 演習	ハンドマッサージ	ハンドマッサージ		ハンドマッサージの手順の習得	
		3 演習	JNEC ネイリスト技能検定に向 けて	全行程のトレーニング		全行程の習得	
	3学期	1月	3 演習	JNEC ネイリスト技能検定に向 けて	検定対策(DVD、デモンストレーション、説明)		検定についての基礎知識の習得
			3 演習	JNEC ネイリスト技能検定に向 けて	検定対策(DVD、デモンストレーション、説明)		検定についての基礎知識の習得
3 演習			JNEC ネイリスト技能検定に向 けて	検定対策		規定タイムに入ること 作品評価 【評価課題10項目による限定方 式】	
6 演習			JNEC ネイリスト技能検定に向 けて	検定対策			
6 演習			JNEC ネイリスト技能検定に向 けて	検定対策			
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%					
教科書及び教材		・ネイルテキスト ・ネイル検定教科書 ・ネイル道具一式 ・DVD					
資格対応		JNECネイリスト技能検定 3級					
備考							

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
関係法規 【必修科目】		22期2学年	10	井上 慎一郎 (外部講師) 【なし】	行政書士 大学・大学院で法律を学んだ後、官公署や士業事務所での勤務経験を生かし、 行政書士として熊本市を中心に許認可申請業務・事業運営支援その他行政 手続きのサポートを行う。
【授業概要】		理容師・美容師法について学ぶ			
【講義の目的】		国家試験合格 美容師法を中心とした関係法規の理解			
【授業計画】					
期間		時間数・授業 形態	講義題目	講義内容	到達目標
2学期	10月	2 講義	全講義の復習 (重要要約のレジュメ解説)	重要要約レジュメにて問題解答解説	到達度小テスト70%基準以上で あること 解答解説により重要箇 所を理解する
		2 講義	○×問題250問 (解答、解説、個別指導)	美容師法について(人、施設の定義 立ち入り検査 行政処分と罰則)	定義についての理解度を小テス ト70%基準でチェック
		2 講義	予想問題70問 (解答、解説)	過去問題中心にテスト 解答解説	社会における美容師法との関り を知ることと到達目標とする テ ストを交えての講義でチェックを する 到達度テスト70%基準以上 であること
	11月	2 講義	期末試験の解答と解説	美容所と美容師に関する定義について講義	
			2 講義	個別指導	過去問題中心にテスト 解答解説
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価			
教科書及び教材		・関係法規教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック ・適宜プリント配布			
資格対応		美容師国家資格			
備考					

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
衛生管理 【必修科目】		22期2学年	40	井上 隆之 【有り】	美容歴23年 モアヘアメイクカレッジ勤務10年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習 衛生管理 運営管理 香粧品化学 研修課程修了	
				牧野 修平 【有り】	美容歴17年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程終了 衛生管理研修課程終了 ヘアケアマイスターインストラクター取得	
【授業概要】		施術を通して客や理.美容師は感染症に罹患する可能性がある。その防止のため消毒法を学び、業務と消毒との関係を論理的に理解することは重要である。また美容業においての公衆衛生の向上の為の知識習得及び社会生活における感染症等の予防についても重要である。				
【講義の目的】		美容業務と個人衛生との関わりから公衆衛生や感染症等の予防や対策を理解すること。				
【授業計画】						
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標
1学期	4月	2 講義	【第1章】消毒法総論	消毒の意義を社会生活における感染症等を例題に考える。 ※サロンで使用する道具の必要性を理解し感染症との関連を考える。		社会生活における感染症等の知識理解度を到達目標とする
		1 講義	【第2章】消毒法各論	サロン実務経験から化学的消毒法を実習を交えることで現場において嗅覚等の必要性を体験する。		定義についての理解度を小テスト70%基準でチェック
		1 講義	【第3章】消毒薬希釈法	サロン実務経験から美容室での消毒薬の実践的使用法等を教科書と同期させ講義		サロンでの消毒が公衆衛生の上必要性を認識することを到達目標とする
	5月	1 講義	総まとめ	1学期の範囲の25問テスト及び過去問題の解説。公衆・環境衛生の再確認		感染症消毒に関する事項が日常の中で必要であることを認識することを到達目標とする
		1 講義	総まとめ			
		2 講義	理.美容所における衛生管理要領	公衆衛生のもつ大義としての”住民の健康”を守ることを中心に展開する。 ※サロンの現場で使用しているエタノール溶液・次亜塩素酸ナトリウム等を用い実際の器具等を消毒体験をする。		消毒に関する事項が日常の中から考察し、その重要性・必要性を学び、その知識体験が公衆衛生上社会においての健康維持に必要であることを認識することを到達目標とする
		2 講義	消毒の自主的管理体制について考察	健康の持つ意味としての”肉体的・精神的・社会的”の意味を講義する。		
		2 講義		健康が単に疾病や病弱ではないということだけでなく何が完全に良好な状態なのかを考える。		
		2 講義	消毒の自主的管理体制について考察	WHOの定義をわかりやすく授業に落とし込み、美容における役割を考えまとめる。		
	6月	1 講義	消毒の管理について	衛生管理要領定めてある事項の理解。①接客においてのリスクとして血液感染を中心に考える。 ※実務経験からサロンの現状と座学で学んでいる内容を照らし合わせさらに細分化した学習をする。		普段考えることのなかったサロンでの消毒、衛生の考え方が公衆衛生上社会に役立つ認識することを到達目標とする
		2 講義	衛生の管理について	理.美容所における衛生管理要領をさらに細分化して定めてある事項をより理解する。 ②現状として患者数が増加傾向にある問題肝炎・梅毒について講義する。		
		1 講義	2学期まとめ	今まで学んだことのまとめから衛生管理の役割を考える。※担当教員のサロンの現場での消毒方法、廃棄物の処理、薬剤の廃棄処理衛生害虫侵入阻止のための予防について学ぶ。		今まで学んだことから地域や社会生活との関りにおける衛生管理の役割を考える。 到達度小テスト70%基準以上であること
	7月	1 講義	2学期まとめ	今まで学んだことのまとめから衛生管理の役割を考える。※担当教員のサロンの現場での消毒方法、廃棄物の処理、薬剤の廃棄処理衛生害虫侵入阻止のための予防について学ぶ。		
		1 講義	総まとめ(全学期)	全学期範囲による25問テスト及び過去問題の解説。 近年の過去問題＋α現代の公衆衛生の現状の再確認		
2学期	9月	2 講義	総まとめ(全学期)	全学期範囲による25問テスト及び過去問題の解説。近年の過去問題＋α現代の公衆衛生の現状の再確認		
		2 講義				
		1 講義	総まとめ(全学期)			
		1 講義				
		2 講義				
	10月	2 講義				
		2 講義				
		1 講義				
		2 講義				
		2 講義				
		2 講義				
	11月	1 講義				
2 講義						
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価				
教科書及び教材		・衛生管理教科書(日本理容美容教育センター発行)・ワークブック ・各章まとめプリント 模擬問題プリント				
資格対応		美容師国家資格				
備考						

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴		
保健 【必修科目】		22期2学年	40	榊田 菜摘 【有り】	美容師歴15年 大阪、熊本とブライダル部門にて15年間の実務経験あり。 日本理容美容教育センター主催 美容議論・実習・保健研修課程修了		
				安楽 麻衣 【有り】	AEAJアロマセラピーアドバイザー、スポーツメディカルトレーナー 星野リゾートASOトップセラピストの経歴を持つ。 現在もブライダリストとして現場に立つ。JBCA認定教員 (公社)日本理容美容教育センター主催 運営・保健研修課程修了。		
【授業概要】		毛髪・爪・肌の基本理論を習得し、その根本的である人体の構造・機能・皮膚・付属器官・役割の知識を高め容姿だけではなく、心身ともに健康を目指す。					
【講義の目的】		1年次学習した内容を理解し、さらに深め知識を上げるとともに、社会生活における美容保健の果たすべき役割について考察することで社会に寄与する。					
【授業計画】		全編講義					
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標	
1学期	4月	2 講義	1年次復習	プリント問題 回答解説により土台作りを徹底する		社会生活での美容保健の果たすべき役割を認識しているかを到達目標とする	
		2 講義	第1章 人体の構造	復習テスト(骨格器系、筋系、神経系、血液・循環器系、消化器系)		定義についての理解度を小テスト70%基準でチェック	
				人体の構造 まとめ 問題演習、解答、解説			
	5月	2 講義、演習	第2章 骨角器系	人の骨格構造を模型等により実際の動きとその可動域を知ることでサロンでのカット・シャンプー時の姿勢の重要性を学ぶ。またそのことで自身の健康を保つことへの重要性を確認する。		可動域について理解することを到達目標とする	
		6月	2 講義	第3章 筋系	サロンでの実務経験よりサロンワークでの負担のかかりやすい部位等をわかりやすく解説。 実際にシミュレーションする。		シャンプー作業での負担箇所を感じる箇所を理解し、マッサージによる血行促進や労働時のメンタル的知識も学んでいく
			2 講義	第4章 神経系 第5章 血液循環器系			
	1講義		第5血液循環器系				
	9月	2講義、実習、 演習	第5章血液循環器系	神経系と血液循環器系についてプリントによる復習と演習と実習。※サロンで実際に術しているマッサージ方法を取り入れ効果的な箇所についてケアの方法を学ぶとともに、自身のダメージを受けやすい箇所について知ること他人に対してのケアの重要性を学ぶ。 皮膚の構造や皮膚の循環器、神経系について学ぶ		神経系と血液循環器系皮膚の詳細について理解をすることで社会生活における健康を意識することを到達目標とする	
		2講義	第6章消化器系				
		2講義	2章皮膚の構造				
	2学期	10月	2 講義	2章 皮膚付属器官の構造	皮膚付属器官の構造を理解し、毛髪の構造や成長メカニズムなどについてなど美容に通ずる知識を高めていく		消化器系について理解をすることで社会生活における健康を意識することを到達目標とする
2 講義			2章皮膚付属器官の構造	復習(皮膚の構造、皮膚付属器官の構造、皮膚の循環器系と神経系)		到達度小テスト70%基準以上であること	
2 講義			2章神経系、皮膚付属器官	皮膚の循環器系との関連性について 小テスト		人毛による実験にて薬剤の作用を理解することで客に対しての安全を認識することを到達目標とする	
11月		5 講義	2章 皮膚付属器官	皮膚付属器官の構造での学習をもとにその働きや関連性、応用知識を学ぶ 小テスト		神経系と生理機能について理解をすることで社会生活における健康を意識することを到達目標とする	
		4 講義	2章 皮膚付属器官の保健	人体の健康と皮膚の健康状態との関連性、生活環境の重要性も学ぶ			
		3 講義	2章 皮膚付属器官疾患	皮膚付属器官の保険と疾患についてより詳しく関連性について復習する ※皮膚トラブルを学ぶことにより現場の美容師やお客様、さらに様々な疾患についての対応することにより社会に寄与する学習をする。			皮膚疾患について理解をすることで社会生活における健康を意識することを到達目標とする
3 講義	総まとめ			過去問題とワークブックによる総まとめ			
3学期	2月	1講義	国家試験に向けて	ここまでの学習を生かして国家試験へ向け最終的な復習		ここまでで学習した知識を実際の現場でどう活かしていくかも意識し、国家試験合格を到達目標とする	
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価					
教科書及び教材		・美容保健教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック・各章まとめプリント・模擬問題					
資格対応		美容師国家資格					
備考							

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
香粧品化学 【必修科目】		22期2学年	20	松嶋 浩明 【有り】	東京原宿・自由が丘にてサロン経営35年のキャリアを持つ。 モア・ヘアメイクカレッジ副校長。 松竹歌舞伎界会員 パリ・ミラノ・ニューヨークコレクション参加の経歴。 (公社)日本理容美容教育センター主催 文化論・香粧品化学研修課程修了
【授業概要】		1章～6章までの個別指導(過去問題、解説による国家試験対策) パーマ、カラー、スタイリング剤を使用しサロン現場に直結できるような知識を習得することで社会生活での安全に意識を持つ。			
【講義の目的】		1年次学習した内容の理解し知識を深め、その知識が日常生活での香粧品の見極めに役立つよう知識を高める 国家試験対策			
【授業計画】		全編講義			
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	2 講義	界面活性剤 シャンプー、トリートメント剤について	頭皮毛髪別シャンプー剤を実際を選び用いる成分を確認し効果や陽性陰性等について講義。	製品と原料についての知識を持つことによりさらに成分管理の大切さを理解できることを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上であること
		2 講義	高分子化合物	天然、合成、半合成それぞれの化合物の特徴を講義。	
	5月	3 講義	2章 香粧品用原料	問題演習と化合物等名称確認。	
		3 講義	パーマ剤、カラー剤について	サロンで使用しているパーマ剤やカラー剤を用いて医薬部外品について検証する。	普段使用しているものの中に医薬部外品と化粧品があるという認識する。それが生活の中において安全に香粧品を使用する観点から重要であることを認識することを到達目標とする
	6月	2 講義	スタイリング剤	サロンで使用しているスタイリング剤の内容成分を確認し用いて各自実際に整髪してみる。	
		2 講義	3章 基礎香粧品	薬局にある化粧水数種類を用いて成分の違いをみて実際に比較してみる。	
2学期	9月	2 講義	4章 メイクアップ用化粧品	学校の教材であるメイクアップ用化粧品を用いて内容成分と用途の関連性を考察する講義。	実際に何を用いてどうなったのか、また成分について考え安全に使用するために用途用法を理解することを到達目標とする
	10月	3 講義	5章 頭皮・毛髪用化粧品	頭皮状態をマイクロスコープにてチェック後、頭皮に合わせたヘアトニック、育毛養毛剤を選択する。 選択した商品は、それぞれについて化粧品と医薬部外品との関連性を考察する。	実際に何を用いてどうなったのか、また成分について考え安全に使用するために用途用法を理解することを到達目標とする
	11月	1 講義	6章 芳香製品と特殊香粧品 総まとめ 個別指導	芳香製品数種の比較と成分確認。 総まとめテストと問題演習、解答、解説。	実際に何を用いてどうなったのか、また成分について考え安全に使用するために用途用法を理解することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上であること 生活の中において安全に香粧品を使用する観点から重要であることを認識することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上であること
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価			
教科書及び教材		・香粧品化学教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック ・適宜プリント配布			
資格対応		美容師国家資格			
備考					

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
文化論 【必修科目】		22期2学年	20	松嶋浩明 【有り】	東京原宿・自由が丘にてサロン経営35年のキャリアを持つ。 モア・ヘアメイクカレッジ副校長。松竹歌舞伎界会員 パリ・ミラノ・ニューヨークコレクション参加の経歴。 (公社)日本理容美容教育センター主催 文化論・化粧品化学研修課程修了	
				田中 謙二郎 【有り】	サロン勤務39年の実務、美容室経営経験現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習・文化論・運営管理研修課程修了	
【授業概要】		理容・美容の語義の理解と日本の理容・美容業の歴史、及び日本のファッション文化史を知る				
【講義の目的】		ファッション・芸術の分野を理解し、美的感覚や創造性・感性を磨くことが美容業・各種サービス業に就くことに必要不可欠であることを理解させる。 また歴史を知る事誇りに思い人生を豊かにすることが地域社会にとつての徳に繋がることであると理解する				
【授業計画】		全編講義				
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標	
1学期	4月	2 講義	日本の美容の歴史	社会が求めているトータルファッションとは何か。 ※学生一人一人を顧客とみて各々のヘアスタイルやファッションについての考え方から、 社会全体の今後の流動を予測してみる。	到達度小テスト70%基準以上。 常識的内容が理解を到達目標とする	
		2 講義	ファッション文化史日本編	室町～江戸時代までの髪型と時代背景をさらに深く学ぶ。 ※講師経験による歌舞伎時代ものDVDと画像によつての時代考証日本のファッション文化史 明治～現代までの髪型と時代背景についてさらに深く学ぶ。 ※画像による時代考証とその時代を描いた動画にての考察。		
	5月	2 講義		日本のファッション文化史 日本ファッション文化史より ※講師経験による日常のファッション文化を多角的に検証し今後社会に必要とされるトータルのファッション文化を考察する。		
		2 講義				
	6月	2 講義	ファッション文化史西洋編	西洋ファッション文化史 復習(古代エジプト～古代ゲルマンまでの髪型と衣服、時代背景について)※画像による時代考証とその時代を描いた動画にての考察	定義についての理解度を小テスト70%基準でチェック	
		2 講義		西洋ファッション文化史 ビザンチン～現代までの髪型と衣服、時代背景について ※特に重要な演劇との関連を検証する。 ※講師経験によるキエフバレエを題材に衣装と装飾など現代ファッションとの類似点等を検証する。		
2学期	9月	2 講義	日本のファッション文化史	衣装を実際に身に付ける 和装の礼装と洋装の礼装 ※日常の礼装の特徴や傾向を考察。また過去40年間の礼装の変化と社会のニーズを考察する。	実際に試着をすることで体験 伝統としての礼装とマナーとしての礼装の使い分けを理解していることを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上であること	
	11月	2 講義	和装・洋装の歴史	和装の礼装※実務経験による講義中心で実際の画像を混ぜる。 ※日本人ノーベル賞受賞式の礼装を考察する。現代社会において最も利用される洋装の礼装について考える。※講師実務経験によるおしゃれ普段着と礼装の違い(ファッションの多様化と個性について)		
		2 講義				
			2 講義	総まとめ		
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価				
教科書及び教材		・文化論教科書(日本理容美容教育センター発行) ・適宜レジュメプリント ・適宜インターネット映像 ・画像				
資格対応		美容師国家資格				
備考						

授業科目名 【必撰】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴		
技術理論 【必修科目】		22期2学年	75	井上 隆之 【有り】	美容歴23年 モアヘアメイクカレッジ勤務10年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習 衛生管理 運営管理 化粧品化学 研修課程修了		
				牧野 修平 【有り】	美容歴17年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程終了 衛生管理研修課程終了 ヘアケアマイスターインストラクター取得		
				田中 謙二郎 【有り】	サロン勤務39年の実務、美容室経営経験現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習・文化論・運営管理研修課程修了		
【授業概要】		・技術の裏付けとなる理論を学び「なぜそうなるのか」ということを明確に理解する。 ・姿勢、作り方、薬剤、手技の精度をより化学的根拠に基づき提供できるよう学習する。					
【講義の目的】		実技を行う上で必要不可欠な理論を学ぶことで更なる技術の向上。 国家試験合格					
【授業計画】							
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標	
1学期	4月	2 講義	序章	国家試験に出題されやすい箇所をより詳しく学ぶ。小テスト 個別指導		小テストの70%の正答率を目標とする	
		2 講義	第1章 美容用具				
		1 講義	第2章 シャンプーイング				
		2 講義	第3章 ヘアデザイン				
		5月	2 講義	第4章 ヘアカットイング	国家試験に出題されやすい箇所をより詳しく学ぶ。小テスト 個別指導		小テストの70%の正答率を目標とする
			2 講義	第5章 パーマネットウェービング			
	2 講義		第6章 ヘアセッティング				
	6月	2 講義	第6章 ヘアセッティング	ワークブック、国家試験過去問題、演習、解答、解説、個別指導		小テストの80%の正答率を目標とする	
		2 講義	第7章 ヘアカラーリング				
		2 講義	序章～7章 まとめ				
		2 講義	第9章 ネイル技術				
		2 講義	第10章 メイクアップ				
2学期	9月	4 講義	第8章～12章 まとめ	ワークブック、国家試験過去問題、演習、解答、解説、個別指導		小テストの80%の正答率を目標とする	
		8 講義	序章～12章 総復習	総復習の模擬テストにて理解度を確認する個別指導		小テストの80%の正答率を目標とする	
	10月	12 講義	序章～12章 総復習	総復習の模擬テストにて理解度を確認する個別指導		小テストの80%の正答率を目標とする	
		12 講義	序章～12章 総復習	総復習の模擬テストにて理解度を確認する個別指導		小テストの80%の正答率を目標とする	
	11月	11 講義	序章～12章 総復習	国家試験前最終復習		国家試験過去問題90%の正答率を目標とする	
3学期	2月	1 講義	序章～12章 総復習	国家試験前最終復習		国家試験過去問題90%の正答率を目標とする	
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価					
教科書及び教材		・美容技術理論教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック ・適宜プリント配布					
資格対応		美容師国家資格					
備考							

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
運営管理 【必修科目】		22期2学年	20	井上 隆之 【有り】	美容歴23年 モアヘアメイクカレッジ勤務10年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習 衛生管理 運営管理 化粧品化学 研修課程修了	
【授業概要】		経営の目的を明確にし、継続して顧客を満足させ収益の維持活動の為の責任を負うことが経営者としての根幹である。そのような考えのもと経営や経営者にとっての基本的考え方を考察する。				
【講義の目的】		経営者の視点、人という資源・従業員としての視点、サービスデザインの学習を深く理解する 国家試験合格				
【授業計画】		全編講義				
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標	
1学期	4月	1 講義	経営、経営者とは	経営資源・経営計画・経営戦略とは何かを経営者の立場から分かりやすく講義	講義テーマを理解していること 到達度小テスト70%基準以上であること	
		1 講義	美容業界の経営	美容界の現状についてをディーラー等からの話も交え講義	定義についての理解度を小テスト70%基準でチェック	
	5月	2 講義	資金管理	経営において重要なお金についての考え方を経営者経験から考察	お金についての考え方を管理するという観点から理解することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上であること	
		2 講義	収益、損益とは	会計の考え方 コストを管理する方法論を講義		
2学期	9月	2 講義	税金について	税金の種類とその内容、支払うタイミング、罰則	人をどう見ているのかを社会的にいい力見れることを到達目標とする	
		2 講義	人という資源	人材についての考え方を経営者目線で考える方法で講義		
	10月	2 講義	給与、待遇、福利厚生	美容業界における未だ成熟していない問題について講義※実際にグループごとに各サロンの求人票をチェックしそれぞれのもつ特徴や違いを知る。	福利厚生の仕組みを学び安心できる社会を考えられることを到達目標とする	
		2 講義	健康、安全な職場環境	従業員の健康と安全について法令との関係を講義		
	11月	1 講義	社会保険	老後、事故、傷害等や暮らしに安心を確保するための考え方やそれに準じる公的制度について講義	サービスを受ける側とする側両面からマーケットを考えることを到達目標とする	
		2 講義	顧客が求める価値、多様性	ホスピタリティ、サービスの考え方をサロンでの実体験を交え講義		
	12月	1 講義	マーケティング	顧客満足度を中心とした講義にサロン実務経験を交える	到達度小テスト70%基準以上であること	
			人の役割、接客について 接客の実践 トラブルと対応	接客の実践とトラブルについて※サロンで経験したリアルな体験も交え昨今多くなってきた現状への対応や対策を学ぶ。		
3学期	2月	2 講義	総まとめ模擬テスト	25問のテスト実施	講義テーマを理解することで運営管理が生活の中に役立つことを知るということを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上であること	
成績評価の方法と基準		期末試験100点満点で評価				
教科書及び教材		・運営管理教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック ・DVD(教育センター企画・制作) ・国家試験過去問題				
資格対応		美容師国家資格				
備考						

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
美容実習 【必修科目】		22期2学年	390	井上 隆之 【有り】	美容歴23年 モアヘアメイクカレッジ勤務10年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習 衛生管理 運営管理 香粧品化学 研修課程修了	
				牧野 修平 【有り】	美容歴17年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程終了 衛生管理研修課程終了 ヘアケアマイスターインストラクター取得	
				田中 謙二郎 【有り】	サロン勤務39年の実務、美容室経営経験現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習・文化論・運営管理研修課程修了	
【授業概要】		美容技術理論に従い、実際の手技、姿勢を把握し、国家試験の課題のみだけではなく実際のサロン現場で即戦力となる技術を習得する。				
【講義の目的】		美容師国家試験の合格レベルの技術、また就職後に即戦力となるような技術の習得。 国家試験合格				
【授業計画】						
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標
1学期	4～8月	30 実習	ワインディング 基礎練習①	タイムトライアル 個別指導		ロッド構成の習得
		30 実習	オールウェーブ 基礎練習①	タイムトライアル 個別指導		定義についての理解度を小テスト70％基準でチェック
		30 実習	ワインディング 基礎練習 ②	タイムトライアル 個別指導		全頭20分目標
		30 実習	オールウェーブ 基礎練習②	タイムトライアル 個別指導		全頭25分目標
		25 実習	校内コンクールに向けて	ワインディング・オールウェーブ・カット・メイク・ネイルを完成させる		規定時間内に完成させることを到達目標とする
		30 実習	カット①	レザーカットについて		基礎を理解することを到達目標とする
		30 実習	カット②	レイヤーカットについて		基礎理論の理解を到達目標とする
2学期	9～12月	60 実習	カット③	レイヤーカット基礎技術の実際		25分で仕上げることを到達目標とする
		50 実習	ワインディング	構成と理論の再確認		ワインディング19分目標・オールウェーブ24分目標を到達目標とする
		50 実習	オールウェーブ	構成と理論の再確認		
		25 実習	第1課題と第2課題	課題の通し練習		カット19分目標・ワインディング19分目標・オールウェーブ24分目標を到達目標とする
成績評価の方法と基準		技術評価70％ 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30％				
教科書及び教材		・美容実習教科書(日本理容美容教育センター発行) ・実習道具一式				
資格対応		美容師国家資格				
備考						

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
接遇コミュニケーション 【選択科目】		22期2学年	20	井上 隆之 【有り】	美容歴23年 モアヘアメイクカレッジ勤務10年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習 衛生管理 運営管理 香粧品化学 研修課程修了	
				牧野 修平 【有り】	美容歴17年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程終了 衛生管理研修課程終了 ヘアケアマイスターインストラクター取得	
【授業概要】		現場で役立つ知識を修得し、社会人としてのマナー、コミュニケーションを学ぶ。 自立した社会人になるため自ら相応しい履歴書の書き方・面接の仕方の重要性を認識する。				
【講義の目的】		求人側から学ぶことも多く取り入れ、面接時のコミュニケーション能力をより高めること。				
【授業計画】						
期間		時間数・授業 形態	講義題目	講義内容		到達目標
1学期	4月	2 講義	就職するにあたって 社会人としてのマナー①	マナーやコミュニケーション力が社会生活においていかに重要かを美容室に勤務する経験を中心に講義する。		コミュニケーション力の重要性を理解できることが社会で役に立つということを到達目標とする
		2 演習	就職するにあたって 社会人としてのマナー②	実際に顧客行動パターン別シミュレーションを行う。		
		2 演習	就職するにあたって 社会人としてのマナー③	「サロンにおける求められる人材とは・・・」について美容室経営経験教員による講話を交えてのディスカッション①		ディスカッション力を身に付けることが社会生活において重要なツールになるということを認識することを到達目標とする
		1 講義	求人と採用条件について①	サロン別求人票の見方について		重要ポイントの認識力向上させることを到達目標とする
	2 講義					
	5月	2 演習	求人と採用条件について②	福利厚生の意味と必要性、成り立ちと現状①		
		2 演習	求人と採用条件について③	福利厚生の意味と必要性、成り立ちと現状②		
	6月	5 講義	履歴書について	履歴書作成と自己アピール(自己分析)		自己発信力を身に付けることで社会により深く関わられるということを知るということを到達目標とする
	7月	2 演習	面接について	教員の実務経験(サロン経営等)による面接の実際		
			総まとめ	就職内定後を想定したシミュレーションと質疑応答		
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%				
教科書及び教材		ビューティーコーディネーター検定認定テキスト 3級				
資格対応		ビューティーコーディネーター検定 3級				
備考						

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
美容総合技術と 施術実習 【選択科目】		22期2学年	265	井上 隆之 【有り】	美容歴23年 モアヘアメイクカレッジ勤務10年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習 衛生管理 運営管理 化粧品化学 研修課程修了	
				牧野 修平 【有り】	美容歴17年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程終了 衛生管理研修課程終了 ヘアケアマイスターインストラクター取得	
【授業概要】		1年次を踏まえて主に作品作り、ヘアショー、コンテストに向けたデザインを取り入れて完成を磨く				
【講義の目的】		サロンワークで不可欠な技術の理論習得及び基本技術の習得				
【授業計画】						
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標
1学期	5～8月	50 演習	カットコンクールに向けて	カットコンクールに向けて各ステージ、音楽、衣装他構成についてトータル的に作り上げる。多数のショー、ステージ経験からいろいろなアイデアを提案し作り上げる。		創造する力、合わせて表現力を身に付け社会人となり感性が必要とされる多様な条件に対応できる基礎が身につくこと。 それにより社会生活が豊かになるということを知る。 そのことを到達目標とする。
2学期	9～12月	71 演習	校内コンクールに向けて	外部各主催コンクールに参加す露ことを目標にする(スタイルブック作成、、ウィッグ製作、モデル製作までを構成を立てデモンストレーション実践練習を繰り返す。 多数のショー、ステージ経験からいろいろなアイデアを提案し作り上げる。		発想力や創造力、合わせて表現力を身に付け社会人となり感性が必要とされる多様な条件に対応できる基礎が身につくこと。 それにより社会生活が豊かになるということを知る。そのことを到達目標とする。
3学期	1月	93 演習	ワインディング、ウェーブ 、カット、個別指導 衛生面講義	衛生面他(実技 基礎練習 タイムトライアル) 個別指導 サロン経験から衛生管理の重要性について講義(いかかる場合も手指を清浄にすることなど) ワインディング、ウェーブ、カット、衛生面について個別指導を徹底する		衛生面の講義を中心に公衆衛生での重要性を再確認すること と到達目標とする
	2月～3月	51 演習	国家試験学科 個別指導	国家試験学科に向けて個別指導を行う。 7科目の教科を個別で指導し、詳しく講義する。		学科の個別指導を行い、苦手科目を克服することを到達目標とする。
成績評価の方法と基準		技術評価70％ 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30％				
教科書及び教材		配布プリント 各項目に美容用具一式				
資格対応						
備考						

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
毛髪に基づく 施術実習 【選択科目】		22期2学年	30	井上 隆之 【有り】	美容歴23年 モアヘアメイクカレッジ勤務10年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習 衛生管理 運営管理 香粧品化学 研修課程修了	
				牧野 修平 【有り】	美容歴17年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程終了 衛生管理研修課程終了 ヘアケアマイスターインストラクター取得	
【授業概要】		1年次の毛髪を踏まえてデザインの的なものを加えステップアップにつなげる				
【講義の目的】		就職後に即戦力となる知識の習得 デザインカラーの習得				
【授業計画】						
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標
1学期	7月	3 演習	ストレートパーマ	理論～ウイッグ練習 頭皮に付けない塗布の仕方		薬剤を安全に使用することを到達目標とする。
		3 演習	パーマデザイン	基本巻き以外のデザインパーマ ウイッグ練習 ※実務経験からデザインのパターンの違いによる仕上がりを検証		定義についての理解度を小テスト70%基準でチェック
		6 演習	ヘアセット	ヘアアレンジ～ショー用の特殊セット 相モデル 人毛実践 ※実務経験から人毛の注意点を理解させる		
		6 講義	デザインカラー	ブリーチオンカラー 理論		基本と応用が理解され、作品がサロンレベルに仕上がることを到達目標とする。 作品評価 (評価課題10項目による減点方式)
		6 演習		ブリーチオンカラー ウイッグ練習※薬剤をモデルの顔に付けない工夫		
				ブリーチオンカラー 相モデル 人毛実践 ※実務経験から頭皮トラブルの危険性を理解させる		
				6 実習	ブリーチオンカラーからデザインカラーまで 作品作成	
		6 実習		ブリーチオンカラーからデザインカラーまで 作品作成		
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%				
教科書及び教材		配布プリント 各項目に美容用具一式				
資格対応						
備考						

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴	
ネイル 【選択科目】		22期2学年	30	黒木 貴美子 (外部講師) 【有り】	ネイリストとして20年以上の実務経験。 スクール講師の経験有り。 NPO法人 日本ネイリスト協会 認定講師取得 NPO法人 日本ネイリスト協会 本部認定講師	
【授業概要】		ネイルの理論、基本技術を学ぶ。 検定取得に向けての知識、技術の習得。				
【講義の目的】		ネイル検定取得。 就職後即戦力となれる知識の習得。				
【授業計画】						
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標
1学期	6月	3 演習	ジェルネイル試験に向けて	ジェルネイルの基礎知識 ジェルネイルの手順 テーブルセッティング ジェルカラーリング ピーコックグラデーション		ジェルの基礎知識の習得
		3 講義	ジェルネイル試験に向けて	ジェルネイルの基礎知識 ジェルネイルの手順 テーブルセッティング ジェルカラーリング ピーコックグラデーション		ジェルの基礎知識の習得
		3 講義	ジェルネイル試験に向けて	ジェルネイルの手順 テーブルセッティング ジェルカラーリング ピーコックグラデーション		ジェルの基礎知識の習得 基礎技術の習得
		3 演習	ジェルネイル試験に向けて	検定対策【ジェル】		規定タイムに入ること作品評価 (評価課題10項目による減点方式)
		3 演習	ジェルネイル試験に向けて	検定対策【ジェル】		
	7月	3 演習	ジェルネイル試験に向けて	検定対策【ジェル】		
		6 演習	ジェルネイル試験に向けて	検定対策【ジェル】		
		6 演習	ジェルネイル試験に向けて	検定対策・模擬試験 準備		
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%				
教科書及び教材		・ネイルテキスト ・ネイル検定教科書 ・ネイル道具一式 ・DVD				
資格対応		JNAジェルネイル技能検定 初級				
備考						

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
ブライダル概要と実習 【選択科目】		22期2学年	15	桝田 菜摘 【有り】	美容師歴15年 大阪、熊本とブライダル部門にて15年間の実務経験あり。 日本理容美容教育センター主催 美容議論・実習・保健研修課程修了
				安楽 麻衣 【有り】	AEAJアロマセラピーアドバイザー、スポーツメディカルトレーナー 星野リゾートASOトップセラピストの経歴を持つ。 現在もブライダリストとして現場に立つ。JBCA認定教員 (公社)日本理容美容教育センター主催 運営・保健研修課程修了。
【授業概要】		ブライダルの専門知識・洋装のヘアメイク理論を学ぶ 実技の習得 選択による授業			
【講義の目的】		現場での知識、技術を学び、技術練習を重ね就職後即戦力となる知識を習得。			
【授業計画】					
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	6月	3 演習	花嫁制作①	一学年の際に習得した技術をもとに二人でヘアメイクをトータルで仕上げる。 個別に指導	デモンストレーションの接客を含め、ヘアとメイクをそれぞれ45分で完成することを達成目標とする。
		3 演習			
		3 演習	着物の知識	現場経験のある講師が実際に使われている専門用具の解説も交えて、基礎的な着物知識の習得	花嫁衣装に関わる簡単な小物の呼称や着物の種類の違いを知る
2学期	10月	3 演習	花嫁制作②	洋装の花嫁を作る。 ヘアメイクに始まり小物選びやドレス選び、着脱、最後に作品の撮影。	三人一組となりモデル、ヘアメイクに分れ60分で完成させ、撮影を行うまでを達成目標とする。
		3 演習			
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%			
教科書及び教材		適宜インターネット映像 DVD 実用本			
資格対応					
備考					

授業科目名 【選択】		対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴		
サロンカット 【選択科目】		22期2学年	45	井上 隆之 【有り】	美容歴23年 モアヘアメイクカレッジ勤務10年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習 衛生管理 運営管理 香粧品化学 研修課程修了		
				牧野 修平 【有り】	美容歴17年 現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程終了 衛生管理研修課程終了 ヘアケアマイスターインストラクター取得		
【授業概要】		基礎技術・サロンワークで使えるヘアスタイル理論の解説 実践に通用するテクニックの習得 選択による授業					
【講義の目的】		基礎理論を基に知識技術を学び、就職後即戦力になる人材を育成する					
【授業計画】							
期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容		到達目標	
1学期	6月	3 演習	基本姿勢	基本姿勢 シザー運行、ベーシックカット復習		基本を理解し正確にできること	
		3 演習					
		3 演習					
		6 演習	ワンレングスカット理論	カット理論・解説 デモンストレーション 実践練習 見極め 総評 ※実務経験からモデル一人一人の骨格や毛髪の違いによる見極め方を実践する ミスした場合のリカバー論等を理解し習得させる		定義についての理解度を小テスト70%基準でチェック	
		3 演習	ワンレングスカット理論				
		3 演習	グラデーションカット理論				
	3 演習	グラデーションカット理論					
	7月	3 演習	マッシュボブ理論	TONI&GUICOLLECTIONスタイル理論・解説 デモンストレーション 実践練習 見極め 総評			
		6 演習	サロンスタイル理論				
		6 演習	サロンスタイル理論				
2学期	10月	6 演習	サロンスタイル理論				
成績評価の方法と基準		技術評価70% 作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%					
教科書及び教材		カット用具一式 ウィッグ TONI&GUYフューチャーファンデーションBOOK、DVD					
資格対応							
備考							